

## 職員研修実施状況

H24年4月～5月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
平成24年4月3日(火) 16:00～17:00	教育研修部	障害をもつ子どもと家族の育児支援	精神科 服部祥子 医師	46名	5階ホール
平成24年4月4日(水) 16:00～17:00	教育研修部	人権教育	あさしお園 伊藤裕規 園長	25名	5階ホール
平成24年4月18日(水) 17:30～18:30	教育研修部	臨床倫理学習会	フェニックス 船戸正久 園長	95名	5階ホール
平成24年4月19日(木) 17:30～18:30	教育研修部	口腔ケアと摂食嚥下障害	西円山病院 藤本篤士 歯科医師	65名	5階ホール
平成24年4月23日(月) 17:30～18:30	4階 フェニックス	デスカンファレンス(死亡症例検討会)	塩川小児外科部長 馬場小児科医師 近藤医療連携部医療相談室室長 香月4階病棟師長 司会:竹本小児科部長	112名	5階ホール
平成24年4月26日(木) 17:30～18:30	リハ部	乳幼児期の脳性まひ児の口腔ケアについて	山川真千子 言語聴覚士 中村由貴子 歯科医長	55名	5階ホール
平成24年5月25日(金) 18:00～18:30	リハ部	看護部・リハ部合同勉強会 「乳幼児期のリハ治療」	リハ部員	66名	リハ室

## 感謝

### 【寄付金と寄付物品】

大阪発達総合療育センターへの  
御理解・御協力  
誠にありがとうございます

#### 一般寄付金

寄付者（敬称略）	月日
廣田和子	4月
楽基金	4月
国際ソロプチミスト大阪-中央	5月
楽基金	5月
バザー収益金	5月

#### 寄付物品

寄付者（敬称略）	物品名	月日
株式会社マジック	Tシャツ 299枚	3月
梶浦一郎	軽自動車	4月
株式会社 KJ-net	お菓子	4月
近畿アイスクリーム協会	アイスクリーム	5月
匿名（利用者）	青い鳥はがき 138枚	5月

平成24年5月31日現在

### 平成24年 永年勤続表彰について

当法人に勤めて平成23年5月2日から平成24年5月1日までの間に勤続20年または勤続10年となる職員に梶浦理事長から表彰状と副賞を授与しました。

#### ●対象者

勤続20年表彰	美延 幸保	南大阪療育園副園長	医師
勤続10年表彰	西尾 恵美	看護部2階病棟	看護師
	瀧本栄美子	あさしお園主任	看護師
	井田亜樹子	通園部ふたば主任	保育士
	中島 るみ	リハビリテーション部	作業療法士
	出口 奈和	リハビリテーション部	理学療法士

### 今年度から機関紙「葦」は 季刊発行になりました!!

機関紙「葦」は、今年度より6月・9月・12月・3月の計4回発行することになりました。各号、発行月前3ヵ月間のセンターでの活動やトピックスをご紹介します。チーム医療の実現をめざして日々取り組む多職種の姿に焦点をあてていく予定です。よろしくお願いたします。

社会福祉法人 愛徳福祉会

# 大阪発達総合療育センター

Osaka Developmental Rehabilitation Center

保険医療機関 南大阪小児リハビリテーション病院

# 葦

大阪発達総合療育センター機関紙  
第6号 平成24年6月



社会福祉法人 愛徳福祉会 理事長

梶浦 一郎

### 南大阪小児リハビリテーション病院に名称変更

この4月から保険医療機関名称を「南大阪小児リハビリテーション病院」と変更いたしました。昭和45年に聖母整肢園を創立するに当たり、府の児童相談所長さんから「明日からは児童福祉施設長だから医者を辞めなさい」と言われたのは鮮明に思い出されます。「医者を辞めて何ができるのか？医療をすることが福祉だ」と若気の至りで忠告を無視しました。当時は「障害児の治療なんて無意味だから施設に収容しておきなさい」という考え方だったと思います。以来40年あまり自分なりに障害児医療の確立に努めてきて、やっと堂々と病院と名乗れる日が来たと感じ無量です。福祉といえはややもすれば甘い考えが入りがちです。まだまだ超一流の病院として道半ばですが、緊張感を持って益々医療を充実して、障害児者の生活向上に努めたいと思います。

### 鈴木恒彦先生 センター長就任

また、5月からセンター長に鈴木恒彦先生が就任されました。東北大震災に遭遇され、ご自宅も被害に遭われたため、就任が1年遅れましたが無理を言ってやっと本年実現いたしました。先生は東北大学卒業後、基礎医学の神経生理学教室を経て整肢拓桃園に勤務しておられた時に、ロンドンのボバースセンターに行かれました。神経学の専門的知識をもってDr Bobathと討論され、その考えの正しい事を確信し、以後（昭和50年）わが国におけるボバースアプローチの理論的後援者として、我々を勇気づけて頂いています。先生は温和人柄と科学者として理性高く、各種大病院での経験から優れた経営感覚をもたれた、極めてバランスの取れた人柄であります。今後のセンターの発展のため安心してお任せできることと信じております。



## 大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

【保険医療機関】 南大阪小児リハビリテーション病院  
【児童福祉施設】 南大阪療育園 障害児入所・通所支援事業(肢体不自由児)  
フェニックス 障害児入所・通所支援事業(重症心身障害児者)  
【指定訪問看護事業】 訪問看護ステーション めぐみ

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂 5-11-21  
TEL 06-6699-8731 FAX 06-6699-8134

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会  
発行責任者・梶浦一郎

【児童福祉施設】 あさしお園 障害児通所支援事業(肢体不自由児)  
ゆうなぎ園 障害児通所支援事業(難聴児)

〒552-0004 大阪市港区夕風 2-5-3  
TEL 06-6574-2521 FAX 06-6574-2524



## 就任のあいさつ

大阪発達総合療育センター長

鈴木 恒彦



この5月から廣島和夫先生の後任として、着任いたしました鈴木恒彦と申します。大学卒業後の研修医、基礎医学研究の6年間を除けば、その後の整形外科とリハビリテーション医療に関わった過去36年の医者人生の間、当センターには聖母整肢園の時代から南大阪療育園、大阪発達総合療育センターと、いろいろな形で直接、間接にお世話になり、ご指導いただいた経緯があります。一昨年の創立40周年の記念行事にも参加させていただき、当センターの偉大な歴史に改めて敬服したところでした。梶浦一郎理事長が井上明生先生、廣島和夫先生、大下舜治先生、清水信幸先生といった、きらめく俊才の先生方と一緒に脈々として築いてこられた小児整形外科の発展は衆目の一致するところですし、セラピストの紀伊克昌先生らと一緒に1970年代から始めた0歳からの脳性まひ療育の実践は、我が国の肢体不自由児療育の概念を根底から変え、国の母子保健政策に大きな影響を及ぼすことになりました。

今後の我が国の医療と福祉の動向を鑑みたとき、これまでの輝かしい伝統をこの分野でどのように生かすべきかが当センターには問われています。理事長が目指す「医療技術をもとにした福祉的活動の拠点」としてのセンターの在り方をどのように実現するかは、まさにそれに答えたものといえましょう。

幸い、船戸正久フェニックス園長をはじめとする有能な小児科・小児外科の先生方、美延幸保副園長を筆頭とする小児整形外科エキスパートの先生方、市村看護監が統括する手厚い看護チーム、彦田リハビリテーション部長を責任者とするボバースセラピストの面々、子どもたちの保育と介護に精を出していただいている保育士、介護福祉士の皆さん・・・等、医療技術に基づく強力な介護支援の能力を当センターは有しております。これらを地域の福祉活動の拠点として生かす障

害児に特化した訪問看護ステーションの活動も徐々に軌道にのり始めたと聞いています。

しかし、包括的リハビリテーションを担う伝統的障害児療育と障害者リハビリテーションは、障害の原因となる疾病の多様化と外傷環境の変化、急激な少子高齢化社会に伴い、在宅療育や施設療育を問わず、解決困難な問題がむしろ年々拡大しつつあると言えます。このため、これまでの治療方法の検証に基づいて、新たな治療概念や治療法、斬新な治療システムの開発が求められています。これらの課題に対しても当センターは果敢な挑戦を試みるべく、新たな臨床研究や調査、研修に向けて、積極的な役割を担うべきと考えております。

医療と福祉の狭間にある多くの障害児とご家族の方々にとって、頼りがいのある障害児専門病院として当センターを位置付けていただくように、サービスの向上に努力したいと考えております。私ごとき浅学非才の者にとって勤まる仕事かどうか、心底不安のみでご迷惑をおかけするかもしれません。皆様方の今後一層のご助言、ご協力を得てこれらを克服してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

### 略歴

- 昭和45年3月 東北大学医学部卒
- 昭和45年4月 臨床研修(聖路加国際病院)
- 昭和50年4月 宮城県整肢拓桃園医長
- 平成4年8月 ボバース記念病院副院長
- 平成8年10月 同院院長
- 平成14年7月 大阪府立身体障害者福祉センター所長・付属病院長
- 平成19年4月 大阪府立急性期・総合医療センター副院長・障害者医療リハビリテーションセンター長(大阪府理事)
- 平成21年9月 NTT東日本東北病院整形外科部長・リハビリテーションセンター長

## 新制度移行について

平成24年4月1日より障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえて障害保健福祉施策を見直すまでの間における障害者等の地域生活支援のための関係法律の整備に関する法律が施行されました。

当センターは医療サービス提供体制、福祉サービス提供体制の両方を兼ね備えています。

平成24年4月1日から保険医療機関名が「南大阪小児リハビリテーション病院」に変更となりました。

福祉サービス提供体制においては、新制度移行に伴い、以下のように変わっています。

各障害別に分かれていた障害児入所施設については、「障害児入所施設」として一元化し、重複障害等への対応の強化を図るとともに、自立に向けた計画的な支援を提供していくこととなり、18歳以上の入所者については、障害者自立支援法の障害福祉サービス(療養介護)にて支援を提供していくこととなりました。

(入所施設には、福祉型・医療型の2類型あり、当施設は「医療型障害児入所施設」となっています。)

また、重症心身障害児(者)通園事業が「生活介護・児童発達支援事業」として法定化されました。

今回の新制度による主な新設項目として、障害児が集団生活を営む施設を訪問し、当該施設における障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援をおこなう「保育所等訪問支援事業」の創設。学校通学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上の為に訓練等を継続的に提供することにより、学校教育とあいまって障害児の自立を促進し、放課後等の居場所づくりを推進する「放課後等デイサービス」の創設(あさしお園のみ)、通所・入所利用されている障害児に対して個別支援計画に基づき計画的かつ効果的な支援を提供するため、障害児支援に共通する職種として「児童発達支援管理責任者」の設置がされました。

平成24年度中には、当法人でも、今までこども相談センターが実施していた通所サービス等の利用にかかる相談等を実施する「相談支援事業」を行っていく予定となっています。



### 平成24年度行事予定

	2階病棟	3階病棟	4階病棟	ふたば	なでしこ
4月	変わり風呂・ガーデニング	花見	花見		
5月	子どもの日	運動会	運動会	遠足	
6月	変わり風呂(夏)	ハッピーウィーク	変わり風呂	5歳児遠足	スポーツフェスティバル
7月	七夕	フェニックス祭	フェニックス祭	夏祭り	夏祭り
8月	夏祭り・プール	花火	花火		
9月		イベント企画中	イベント企画中		
10月	ハロウィン・変わり風呂(秋)	秋の散策	秋の散策	運動会	バザー
11月	芸術鑑賞・作品展など				
12月	クリスマス会	クリスマス会	クリスマス会	クリスマス会	忘年会
1月	書初め・変わり風呂	正月	正月		書初め
2月	冬の行事(節分など)	節分	節分		
3月	ひな祭り	カフェフェニックス	茶話会	卒園式/入園式	茶話会

### イベントピックアップ

#### ふたば 春の遠足

毎年恒例のふたば春の遠足。今年は初めて「アミティ舞洲」に行きました。チーム対抗のゲームでは子どももお母さんも大はしゃぎ!とても楽しい一日になりました。



#### フェニックス 運動会

5月26日に4階フェニックス運動会が開催されました。いつもはアットホームな4階病棟ですが、この日に限っては赤組対白組に分かれ白熱した戦いを繰り広げました。船戸園長の開会宣言で始まり、全員揃っての準備体操・玉入れ・落とさず運んでクッキング・帽子取り合戦、そしてご家族参加競技、ポッチャをアレンジした玉入れ。全ての種目でみんなの応援と拍手が会場を包み盛大に盛り上がりました。

